

2021年3月10日
標準化センター事務局

認定産業標準作成機関としての活動状況

1. 概要

2020年3月31日付けで日本鉄鋼連盟は、経済産業省より認定産業標準作成機関（以下、認定機関）に認定された。日本規格協会に続いて第2号の認定機関となった。

認定機関制度とは、産業標準（以下、JIS）制定等の民間主導による迅速化を目的に昨年7月に施行された産業標準化法で制度化され、標準化の専門知識及び能力を有する民間機関が作成したJIS案について、審議会（JISC）の審議を経ずに迅速に制定するスキームである。認定機関になることにより、JIS案作成の着手から経済産業省への申出までの期間の目標を1年以内と設定し、これまで2年程度を必要としていたJISの制定・改正までの期間を大幅に短縮できることが期待される。

ここでは、これまでの認定機関としての原料規格三者委員会に関する活動状況の概略を紹介する。

2. 2020年度に審議予定規格の事前調査表の審議

(1) 対象：改正（追補を含む）を予定している3規格についての事前調査表

JIS番号	西暦年	JIS規格名称	三者委	担当分科会
M8705	2014	鉄鉱石—ロットの水分決定方法	R20予定	M1（サンプリング）
M8202	2015	鉄鉱石—分析方法通則	R20予定	M2（原料分析）
M8713	2009	鉄鉱石—被還元性試験方法	R20予定	M3（物理試験）
			R:改正	
			#R:追補改正	

2020.9.4～9.14 原料規格三者委員会(産業標準作成委員会)にて書面審議

2020.9.15 承認決議

3. 2021年度 定期見直しの審議

(1) 計画リストの審議

対象：2021年度に5年定期見直しとなる対象の7規格について確認・改正・廃止の計画リスト

書誌情報 原案作成団体記入欄(1)						
規格番号	規格名称	最新 公示		対応方針	令和3年度 公示予定の 種類	対応方針を決めた理由
		種類	年月日			
JIS M 8711	鉄鉱石焼結鉱—落下強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8712	鉄鉱石—回転強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8713	鉄鉱石—被還元性試験方法	改正	2017/2/20	12	改正	2021年2月 原料規格三者委員会予定。
JIS M 8715	鉄鉱石ペレット—膨れ試験方法	改正	2017/2/20	26	確認	対応国際規格が改正作業中であり、その結果を待ってJIS改正作業を開始する。
JIS M 8717:2017	鉄鉱石—密度試験方法	改正	2017/3/21	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8718	鉄鉱石ペレット—圧かけ強度試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。
JIS M 8720	鉄鉱石—低温還元粉化試験方法	改正	2017/2/20	25	確認	直ちに改正する必要はないと判断するため、確認とする。

2020.12.9～12.23 原料規格三者委員会(産業標準作成委員会)にて書面審議

2020.12.24 承認決議

(2) 確認の審議

対象：上記の計画リストのうち確認とする6規格の審議

2021.2.5～2.15 原料規格三者委員会(産業標準作成委員会)にて書面審議

2021.2.16 承認決議

4. JIS 案 審議

(1) 申出案件 3 規格 (改正 3)

2020.12.8～12.10 原料規格検討会 M1, M2, M3 分科会で審議・承認

2021.3.10 原料規格三者委員会(産業標準作成委員会)にて審議

2021.5 (予定) 日本規格協会での編集校正を経て経済産業省に申出

5. 2021 年度に審議予定規格の事前調査表の審議

(1) 対象：2021 年度に審議予定の規格の内、現状で提出が必要な 4 規格についての事前調査表

2021.3.10 原料規格三者委員会(産業標準作成委員会)にて審議